

産地直送便



発行 (農) 山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2014. 8. 1 発行
責任者 星 隆之

田んぼの生き物調査

田んぼの生き物調査隊隊長 島崎 真人



青年部の島崎です。今年から生き物調査隊の新隊長になりました。

先日は組合員、一般の参加者、農業高校の生徒、大学生、取引先の方など約 80 人と交流田んぼにて生き物調査を行いました。



準絶滅危惧種のメダカを始めフナ、ドジョウ、トノサマガエルなどたくさんの生き物を見つけることができました。

天気にも恵まれ和気あいあいとした雰囲気での生き物調査になってよかったなと思いました。

田んぼに住む生き物の数や種類が増えていくのも嬉しいことですが、今回は新たな気づきもありました。

それは職種も年代も違う、様々な人たちとの交流ネットワークが田んぼを中心にできているということです。

多分他のメンバーは気づいていると思いますが、私は今回気がつきました。。。

田んぼは米を生産するだけでなく、様々な生き物たちの住処にもなり、さらに地域の交流の場にもなるということです。これからもそんな田んぼで誇りを持って米作りを続けていきたいと思っています。

大学生と新プロジェクト

青年部部长 倉田健三

今、山形おきたま産直センターでは新しい広報活動が始動しています!

県内にある「東北芸術工科大学」の学生さんとタッグを組んで商品開発を行っています。

おきたま産直センターと言えば「田んぼの生き物調査!」に参加してもらったり、田植え体験をしたり学生さんが当方のいろんな活動に参加してくれています。

私たち(生産者)からでは見えない角度からの「魅力」を大学生の視点から発見して発信してもらいたいと思っています。



～7月上旬の水害について～

梅雨前線の影響などにより7月9日明け方から10日にかけて山形県内に雷を伴った激しい雨が降りました。特に南陽市の被害が大きく、吉野川、おりはた川の二つの川が氾濫し、付近の600戸もの住宅が床上、床下浸水被害を被るなど大きな被害を受けました。

当方の組合員の被害はそれ程ありませんでしたが、南陽市全体の田畑への被害は大きく、水田、畑の冠水、氾濫による畑の流失、ハイプハウス等の一部施設の倒壊などの被害を受けました。

事務局 竹田

消費者の皆さんとの交流会開催

□6月28日(土)地元新婦人の皆さん 12名

□6月28日(土)～6月29日(日)足立区職労と千代田区職労の皆さん 27名

□6月30日(月)～7月1日(火)東京土建一般労働組合板橋支部の皆さん 50名

今年は、たくさんの方々が山形置賜に来て下さいました。

当方生産者の高畠班、梨郷/和田/竹原班、柵塚班がそれぞれの組織と交流させて頂きました。

生産者は、自分達が栽培しているお米を消費している皆さんの顔を見ることができ、消費者の皆さんにとっても自分が食べているお米をどんな生産者が栽培しているのか直接顔を見て話しが出来るので、安心感や信頼関係を築くための大切な会と考えています。

昼食交流では、自分達が栽培したお米をはじめ、山形ならではの野菜、名物など地元お母さん達が用意した郷土料理を囲みながら皆さんとお話ししました。



□7月9日(水)～10日(木)東京土建の皆さん 7名

担当者研修、現地見学会という事で、いつもお世話になっている東京土建組合の皆さんと交流をさせて頂きました。山形置賜を知ってもらい、当方の米づくりについて知って頂くために学習会、施設見学その他、さくらんぼ狩りや懇親会を行いました。皆さんお忙しい中お越し頂き大変ありがとうございました。



産直米変更連絡用紙 山形おきたま産直センター行き → FAX0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。

急な変更等是对応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コード NO _____

FAX 送信日 _____ 月 _____ 日

氏名 _____ 様 電話 _____

- | | | |
|--------------------------------|----|------------|
| <input type="checkbox"/> お休み連絡 | 月 | 日お届け分のみお休み |
| | 月～ | 月までお休み |
| <input type="checkbox"/> 変更連絡 | 月 | 日お届け分の変更 |
| ～変更内容～ | | |

